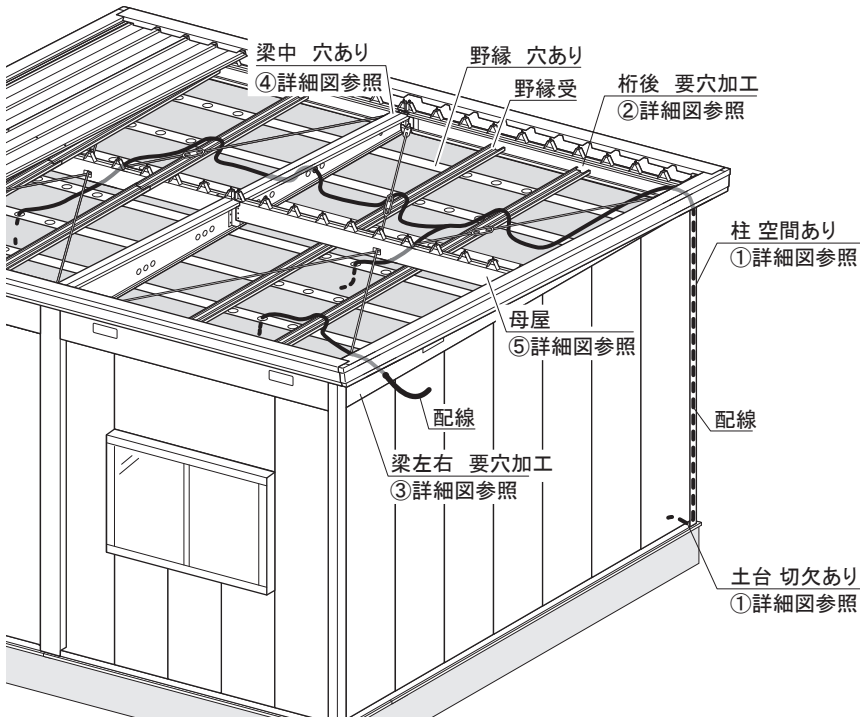
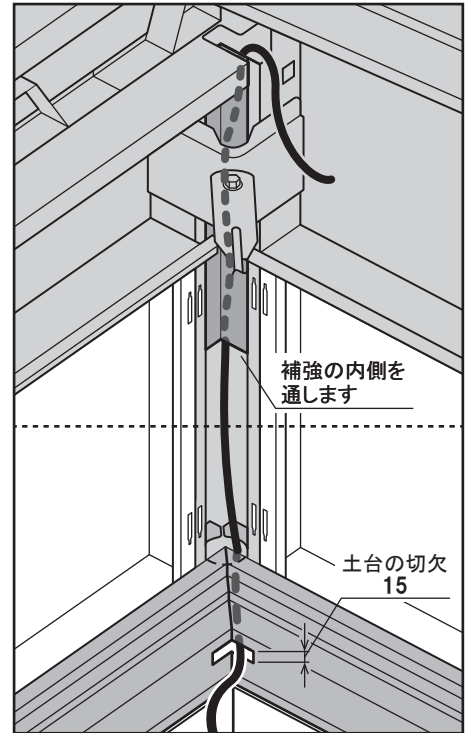


<天井裏 配線参考図>

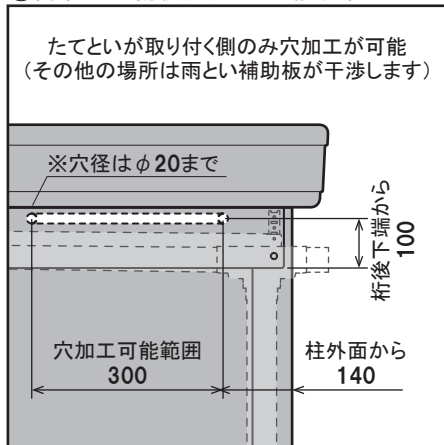
- ・地中から配線を通す場合は土台の中と柱の中を通すことができます。(①詳細図参照)
- ・桁後から配線を通す場合は②詳細図を参照してください。
- ・梁左右から配線を通す場合は③詳細図を参照してください。
- ・梁中の $\phi 40$ の穴から配線を通すことができます。(④詳細図参照)
- ・母屋のタイトフレームの隙間、天井と母屋の隙間から配線を通すことができます。(⑤詳細図参照)



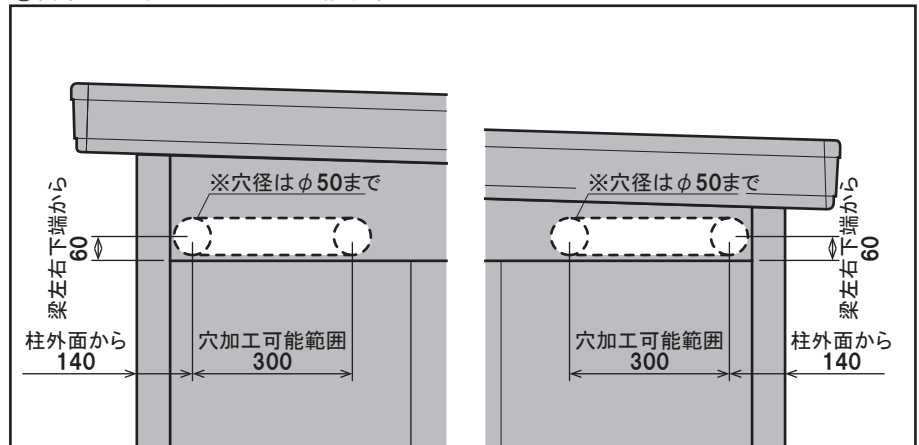
①詳細図 土台切欠・柱空間位置



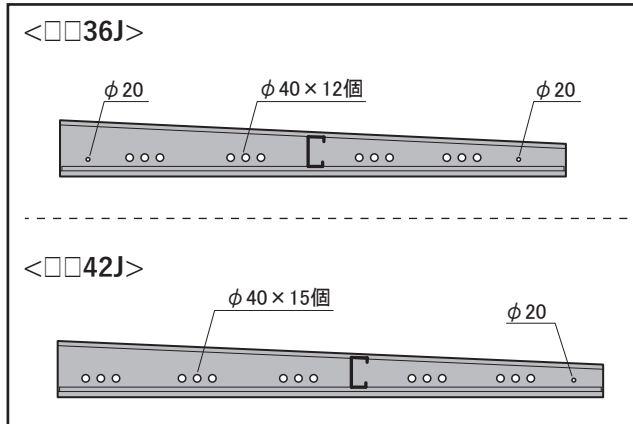
②詳細図 桁後穴加工可能位置



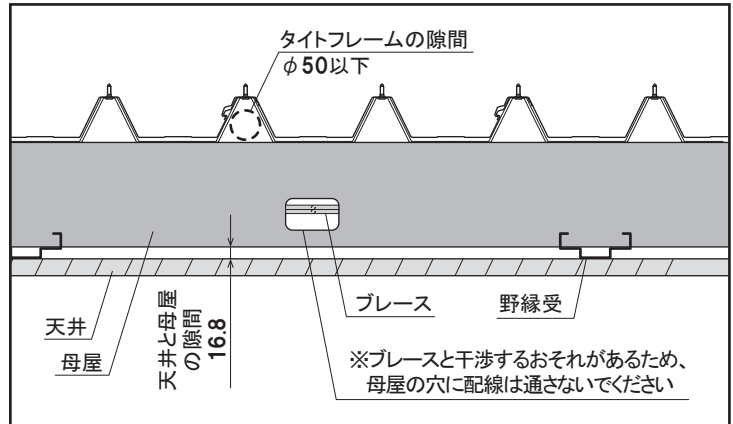
③詳細図 梁左右穴加工可能位置



④詳細図 梁中穴位置



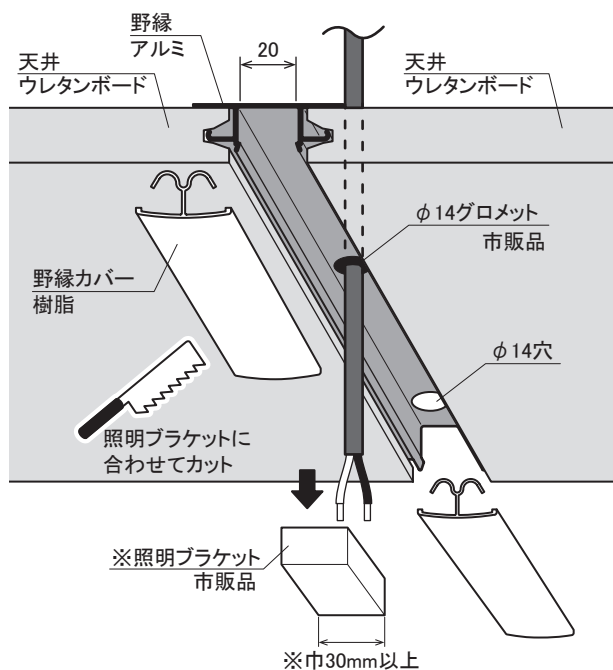
⑤詳細図 母屋と天井面



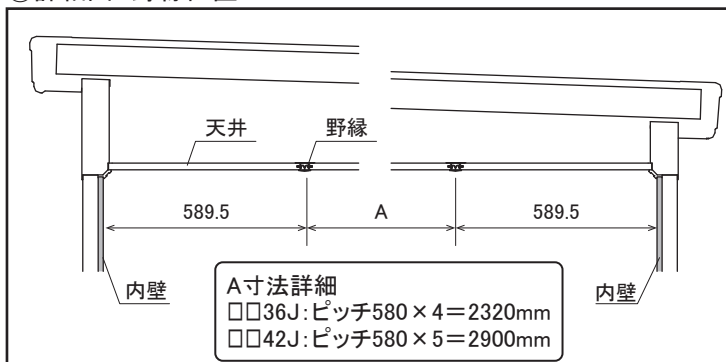
<照明 取付参考図>

野縁の穴から配線を通すことができます。野縁は天井に580mm間隔で付いています。野縁カバーは照明器具に合わせてカットしてください。

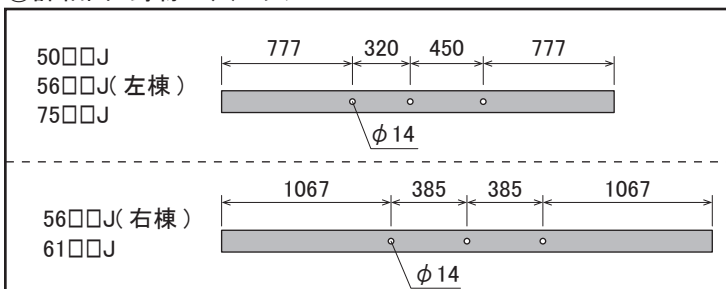
※照明は野縁に取り付けてください。ブラケット巾は30mm以上の市販品を取り付けてください。



⑤詳細図 野縁位置

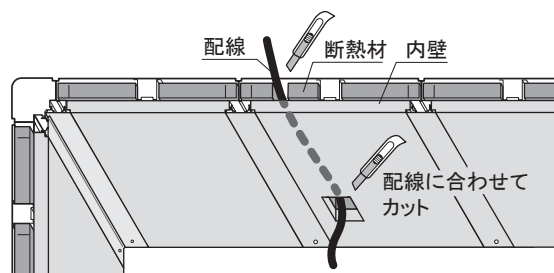
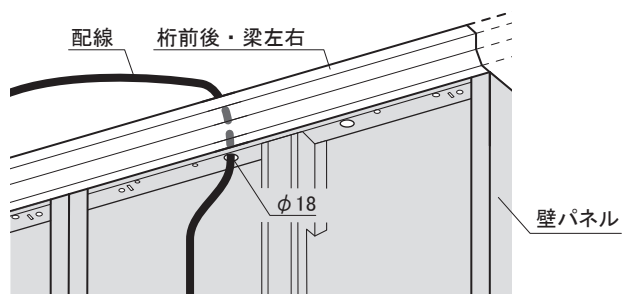


⑥詳細図 野縁の穴ピッチ



<壁面 配線参考図>

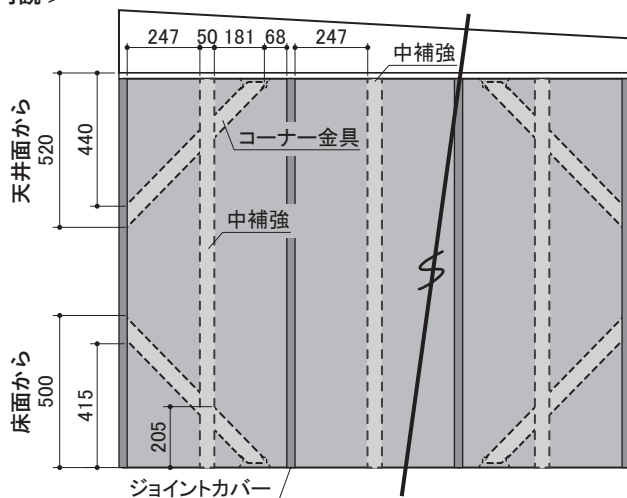
壁パネルのφ18の穴から配線を通すことができます。コンセント等取り付ける備品に合わせて内壁・断熱材をカットしてください。



<側面 コーナー金具位置>

側面の柱寄りの壁にはコーナー金具が入っています。
※コンセント、コンセント等を付ける際は注意してください。

<内観>



<電話 配線参考図>

電話配線はジョイントカバーの中を通すこともできます。
電話配線を庫内に出す場合はジョイントカバーに穴あけ加工が必要になります。

